

8月13日(日)

長野日報

(第三種郵便物認可)

孝良

信濃毎日新聞

# 二葉高110周年の調べ



▲国内外で活躍する同窓生らによるアンサンブルや独奏曲を堪能した諏訪二葉高の第10回ロビーコンサート

## 記念コンサート

### 受け継がれた楽器 同窓生演奏

諏訪二葉高(諏訪市)の同窓会やPTAは12日、学校に残る明治時代のピアノと大正時代のリードオルガンを演奏する第10回ロビーコンサートを同校で開いた。前身の上諏訪町立諏訪高等女学校が1908(明治41)年に開校してから110年目の記念。岡谷出身で米国在住のチェロ奏者林詩乃さんらOG3人と同出身のバイオリン奏者藤原英里子さん、同校音楽部員で教会音楽を響かせた。ピアノは、岡谷市出身の奏者小口希代子さんが演奏。林さんと藤原さんとの三重奏でエルガ「愛のあいさつ」など5曲を披露し、拍手を浴びた。

10回目の節目とあって、林さんも駆け付けた。コンサートでは、諏訪市の声楽家高橋ちえ子さんがオルガンを弾き、郷愁を誘う音色で教会音楽を響かせた。ピアノは、岡谷市出身の奏者小口希代子さんが演奏。林さんと藤原さんとの三重奏でエルガ「愛のあいさつ」など5曲を披露し、拍手を浴びた。

同窓会などは開校110年の記念で、旧校舍に使われたケヤキ板でピアノの由来を記した説明板を作った。

出演は、オルガンは高橋ちえ子会長は、当時県下の高校エグゼクティブ、ピアノは小口希代子さん、チェロは林詩乃さん、バツハやフレームス、シヨパンなどの小品を演奏。ピアノ三重奏は小口さんと林さん、守るべき伝統の力を得るに岡谷市出身のバイオリン奏者の藤原英里子さんを加え、モーツァルトの作品をメインに4曲を披露。息の合ったアンサンブルが響いた。同窓生や住民ら約140人が、時代を経てみずみずしい鍵盤の音色や伸びやかな弦の響きを堪能した。

今年には当時ピアノを購入した初代校長の岩垂今朝吉さんの100回忌にあたり、岩垂校長にささげる演奏会と位置付けた。開会で同窓会の竹花

諏訪二葉高(諏訪市)で12日、創立110周年記念の第10回ロビーコンサートが開かれた。一世紀にわたり同校に受け継がれた明治期のピアノと、大正期の足踏みのリードオルガンを使用。同窓生の音楽家3人の独奏やピアノ三重奏などの聴きごたえあるクラシックの名曲で、節目の演奏会を飾った。(増沢伸)

とどあいさつした。110周年記念事業として作成した、旧校舍本館の階段の手すりを使ったピアノの由来書きの披露もあった。



明治時代のピアノ(左)を交えた三重奏を披露するプロ奏者たち

# 諏訪市 ニュース

諏訪市の動き

市民新聞グループ  
諏訪市民新聞  
〒392-0016  
諏訪市豊田文出1153-3  
☎0266-52-3400  
FAX57-0117  
www.shimin.co.jp  
E-mail  
suwa@shimin.co.jp

SINCE 1885  
あなたの夢が  
生きている  
**カネウツ**  
岡谷市中央町  
TEL23-5533

## 復元ピアノの音色美しく

### 一葉高でロビーコンサート

諏訪一葉高校、同窓会、PTAは12日、同校創立110周年記念、第10回ロビーコンサートと同窓会を兼ね、同校正面玄関ロビーで開いた。在校生、同窓生、地域住民ら135人が来場。同校出身の演奏家が奏する明治時代のピアノと大正時代のリードオル

が英断をもって500円で購入した。折しもこの日は先生の100回忌。このコンサートをささげると述べた。ピアノの伴奏に乗せて来場者全員で校歌を歌って開幕。音楽部生

徒の合唱で始まり、高橋ちえ子さん(41回生、諏訪市在住)がオルガン独奏と独唱を披露した。小口希代子さん(41回生、名古屋市在住)が解説を交えてピアノを奏でた。

メインプログラムは、チェロ奏者の林詩乃さん(44回生、アメリカテキサス州在住)の出演で実現した、明治のピアノとチェロ、バイオリンによるピアノ3重奏。エルガーの「愛の挨拶(あいさつ)」などの4曲を披露し、アンコールでは同校から見える山の眺めになんで「もみじ」を演奏した。来場者たちは目をつむり、美しいハーモニーに身を委ねていた。

110周年記念事業で作成した「ピアノの由来書」もお披露目。旧校舎本館の階段手すりに使われていたケヤキの正目を使用した。社等建築小平の小平牧勇さん(茅野市)が作り、由来の文章を同校で書道指導をしていた小宮山忠治さんが揮毫(きご)した。



明治のピアノ(画面中央)とのトリオを味わった